

「大人力」④

子どもたちの幸せを願い、人権を守るためにも、「わが子も近所の子ども健やかに：ほうっておかない！」という願いのもと、「町ぐるみ目をかけ声かけ心かけ」という「大人力」を発揮していきたいものです。

*思春期SOS⑤…反抗的な言動

・わが子だったら…

親離れが始まった証です。自分自分なのだ、親の思う通りの口ポツトじゃないという子ども心の自立のあらわれです。必要以上に危機感を持ち、腫れものに触るように接すると、子どもとの間に気持ちのくい違いが生じることもあります。子どもからちよつと距離をおいて見守りながら、押しつけがましくなくつきあうのが基本といえます。反抗的な言動に親が感情的になって怒鳴ったりしたくないものですが、まずは気持ちを落

思春期SOSが出たときこそ「大人力」が試されます！

ちつけて、子どもの気持ちを察することから始めましょう。そして、これまで以上に話す機会を増やす努力をしていきたいものです。心にゆとりとユーモアを忘れずに、自分自身の言葉づかひにも気を配りながら、親の考えや気持ちを伝えましょう。また自分の言動には責任が伴ってくることを自覚させることも自立させるためには大切です。素直な返事がなくても、親に心配をかけてはいけないという思いをもっていることを信じて、どーんと構えていたいです。子どもの生活に関心を示し、見守っている親の言動に子どもは親の愛情を感じとるものです。

・近所の子だったら…

道であいさつの声をかけるとそつぽを向くなど、素直に応えなくても明るく声をかけ続けてあげましょう。近所の大人がその子のこ

とを大切に思い、いつも関心をもって見守っているという態度を示すことも大人力です。

*思春期SOS⑥…家庭内暴力

・わが子だったら…

子どものすることに干渉し過ぎたり、親の期待を押しつけて精神的プレッシャーを与えたり、また子どもの欠点をあげて非難し、心を傷つけたりしたことがないか、じっくり反省してみよう。かと言って、子どもが物を壊したとき、世間体を気にして、なるべく目立たないうちに親が後片づけをすることはありません。子どもにさせるべきです。ましてや、親に暴力をふるった場合は、体をはってでも「暴力は絶対に許さない」という態度で接することが必要です。いずれにしろ、初期の対応が肝心です。もし、子どもの暴力行為に何らかの疾患の疑いを感じたときは、勇気を出して保健所や病院などの関係諸機関に相談してみることで

す。秘密厳守のうちに、適切な療法を指示してもらえます。

・近所の子だったら…

家庭内暴力が疑われるときは、保護者に率直に聞いてみましょう。遠慮したりちゅうちよしてしていると、殺傷事件につながってしまう危険もあります。保護者が対応に苦慮していたら、見て見ぬふりをするのではなく、声をかけたり、相談機関を紹介したり、相談を迷ったら同行を申し出るなどのサポートをして心の支えになってあげましょう。

